



急に秋になってしまい、また冬にもなりそうです。「秋の日は、つるべ落とし」とも言うように、日の沈むのが早く、秋の風情を楽しむ余裕もありません。ガンや病気で体調を崩し、人生設計が全く狂ってしまった人の様子を見ていると、やはり「釣瓶落とし」のようです。

退職とか引退という考え方が不健全なように思われ、好きではありません。特に、男性は退職後の生き方が、やることもなく、漫然と日が過ぎていくのを待つだけの場合があります。新聞を読み、テレビを見、気分晴らしに散歩をして、元気な女性たちの言うままに動いて、食事が楽しみというのは、失礼ながら惨めなように感じます。老人ホームを訪問して、特にその思いを強くしました。一体、何のために生きてきたのか、と戸惑う元気もなく、会社勤めの後はやることもなく、自分に指示する人のままに生きてしまうのです。

他方、女性たちの強さ、活気には驚きです。子育てを終わった女性たちは、もはや解放された人生を謳歌すべく、興味と楽しみの日々を過ごします。男たちの権威も権力も、彼女たちにはなすすべもなく、経済と時間の限り、主体性を持つて自由に生きています。夫婦の間で、人生の勝利は決定したようです。

「妻を自分と同じように愛しなさい。」「上に立つ人は、仕える者のようになりなさい。」と聖書は語ります。若い時から、仲良く友達のように暮らしてきた夫婦には、老後も、退職後も同じような生き方が続きます。勝ち負けにこだわらず、他人に要求を繰り返して、世の中を巧みに生きて来ても、生活自体に実体がないと、生産活動を終えた後は、することがなくなってしまうのです。

「秋の夜長」という言葉もあります。疲れを取り、寛いで過ごすには、夜の長いのがかえって幸いです。老後、病後の生き方が、疲れを取り、寛いで過ごせるものになるかどうか、己が心と、交流の深さに依存するかもしれません。

病気や困難、生き甲斐や楽しみの不足、経済的困窮、多くの諸問題が鬱積してしまふこともあるでしょう。しかし、心まで鬱積してしまうと、健康も害し、人も離れてしまいます。クリスマスを待つ待降節が今年は11月27日から始まります。実際にイエス様が生まれた季節とは違うと思われるクリスマスが、最も夜の長い冬至の頃に祝われるようになったのは、神に期待し、春を待ち望む人々の気持ちを汲んでのことであると言われています。

人の心には希望が必要です。あなたの心にも、希望の光が照らされますように。秋の夜長、ヨハネによる福音書をお読みになったら如何でしょうか。ディケンズの『クリスマス・キャロル』のスクルージ爺さんようになってもいいですね。

感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いにご協力ください。

★ 入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押して下さい。

★ 待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

★ 会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

ヨーゼフのキャンペーン

へム鉄、亜鉛、セレノアZ

2016年12月10日迄

聖書を読む会

11月8日(火)午後2時～2時20分

当院待合室にて行います。

どなたでも参加できます。

* 11月22日(火)と29日(火)は、院長が集団健診の出張の為、午後5時の診察は15時からとなります。

* インフルエンザの予防接種をしています。熱がない時においでください。小児の方は母子手帳をお持ちください。チメロサルフリー(水銀系防腐剤を使用していない)ワクチンは製造中止のため入荷できませんでした。3歳以上1回3,780円(税込)、3歳未満1回3,000円(税込)です。ご希望の方は、午前9時迄、午後は通常の受付時間内にお越し下さい。千葉市の高齢者助成は満65歳以上で、自己負担1,800円(生活保護、市民税非課税世帯は無料、12月31日まで)です。

* B型肝炎ワクチンが定期接種化されました。対象者は、H28年4月生まれ以降で生後2ヶ月以上のお子さんです。予約不要です。

* 病児保育のご利用には、前もって登録をしておいてください。詳細はホームページや配布資料をご覧ください。

* 栄養指導を当日の予約時間までにご連絡がなく、無断キャンセルした場合、1080円のキャンセル料がかかります。

* 11月10日(木)10時～12時、千葉福音キリスト教会(小仲台8丁目、フォルクス向い)にて、院長による「子供の病氣予防と栄養」セミナーを行います。参加費は無料です。駐車場あり。

<発達障害の治療の可能性>

10月10日に行われた「発達障害治療の会」の研修会では、池田勝紀医師ご夫妻の御長男への治療体験報告が多くの感動を呼びました。出生時からの過敏な反応を懸念し、2歳で発達障害と診断されてからのご苦労は、身につまされ涙を流さずにはいられないものでしたが、今は小学校への普通児としての入学を認められるまで改善し、運動会では一番にもなった等の劇的な変化を、ご夫妻それぞれの観点からお話して下さいました。

ただ、参加された患者さんたちの声からは、医療機関や療育施設では「発達障害は治らないものである。」という考え方が定着しており、治そうとすると不審なものとされる、という課題が多くありました。また、発達障害の症状改善にサプリメントなどの必要性が大きいことはわかったが、実際には経済上、その支出を続けることが難しいという声もありました。

「発達障害治療の会」として活動できることは、以下のことであると研修会の終わりに報告いたしました。会員の数が多くなるほど、活動の効果が出ますので、より多くの方の会員応募をお願いするものです。

1. 発達障害の治療が可能であることをアピール。
2. 発達障害の予防のために妊娠希望時期から妊娠期、出産後のケアをアピール。
3. 発達障害の治療法の進展、効果的な治療の研究。
4. 発達障害を治療する医療機関の拡大。
5. 発達障害治療の保険適用やその他の助成を求める活動。
6. 発達障害を治療しようとする患者及び家族の交流と情報提供。

A. 発達障害とは（厚労省「みんなのメンタルヘルス」というサイトより）

1. 自閉症スペクトラム障害

現在の国際的診断基準の診断カテゴリーである広汎性発達障害(PDD)とほぼ同じ群を指しており、自閉症、アスペルガー症候群、そのほかの広汎性発達障害が含まれます。症状の強さに従って、いくつかの診断名に分類されますが、本質的には同じ1つの障害単位だと考えられています(スペクトラムとは「連続体」の意味です)。典型的には、相互的な対人関係の障害、コミュニケーションの障害、興味や行動の偏り(こだわり)の3つの特徴が現れます。

自閉症スペクトラム障害の人は、最近では約100人に1~2人存在すると報告されています。男性は女性より数倍多く、一家族に何人か存在することもあります。

① 自閉症

自閉症は、「言葉の発達の遅れ」「コミュニケーションの障害」「対人関係・社会性の障害」「パターン化した行動、こだわり」などの特徴をもつ障害です。

② アスペルガー症候群

アスペルガー症候群は広い意味での「自閉症」に含まれる一つのタイプで、「コミュニケーションの障害」「対人関係・社会性の障害」「パターン化した行動、興味・関心のかたよりに」があります。自閉症のように、幼児期に言葉の発達の遅れがないため、障害があることが分かりにくいのですが、**成長とともに不器用さがはっきりすることが特徴です。**

自閉症スペクトラム障害の特徴は、以下の通りです。

- ・ 自分の気持ちを伝えること、視線を合わせること、友達関係をうまく築くことなどが困難。
- ・ 言葉の発達に遅れや偏りが見られることもある。言葉の遅れがある場合は、質問に対してオウム返しをしたり、単語だけで話をしようとする。会話も一方的になりがち。遊びのルールが理解できなかったり、共同作業などが困難。
- ・ 音、におい、接触刺激、痛みなど特定の感覚に過敏性を示したり、鈍さを示したりする。
- ・ 生活習慣や偏食、同じ服をいつも着るなどの特徴的なこだわりを持ったり、特定の興味に熱中する。また、くるくるとまわったり手のひらをひらひらさせたりする行動がよく見られる。

2. 注意欠陥・多動性障害(ADHD)

発達年齢に見合わない多動-衝動性、あるいは不注意、またはその両方の症状が、7歳までに現れます。学童期の子どもには3~7%存在し、男性は女性より数倍多いと報告されています。男性の有病率は青年期には低くなりますが、女性の有病率は年齢を重ねても変化しないと報告されています。

ADHDの特徴は、以下のとおりです。

- ・ **不注意:** 忘れ物や大切なものでも失くしてしまうことが多く、うっかりしたミスを何度も繰り返してしまう。周りからの刺激があると気が散りやすいことから注意力散漫ともいわれる。
- ・ **多動性:** 「静かにしましょう」という簡単な指示にもおしゃべりが止まらなかつたり、席についていられずに歩き回ったりしてしまう。座っていても、モジモジと手や体を動かしつつしてしまう。
- ・ **衝動性:** 衝動が抑えられず、不適切な場所でも大きな声を出してしまったり突発的な行動が目立つ。順番を待つことや我慢することが苦手で、イライラしやすく、思い通りにいかないとき些細なことで手をだしてしまうこともある。

3. 学習障害(LD)

一般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の事柄のみがとりわけ難しい状態をいいます。有病率は、確認の方法にもよりますが2~10%と見積もられており、読みの困難については、男性が女性より数倍多いと報告されています。

LDの特徴は、以下のとおりです。

- ・ 能力に偏りがあり、たとえば人よりも計算はできるが漢字がうまく書けないといった場合もあるため、努力不足などと誤解されやすい。
- ・ 目から入ってくる情報処理がスムーズに行えず、図形や似たような漢字や文字などが理解できないこともある。
- ・ 文章のどこを読んでいるのか突然わからなくなったり、頭痛が起こったりする。
- ・ 叱られることや注意されることが多くなると、自信を失ったり、やる気を失ったりしてしまいやすい。

B. 政府の定義の問題点

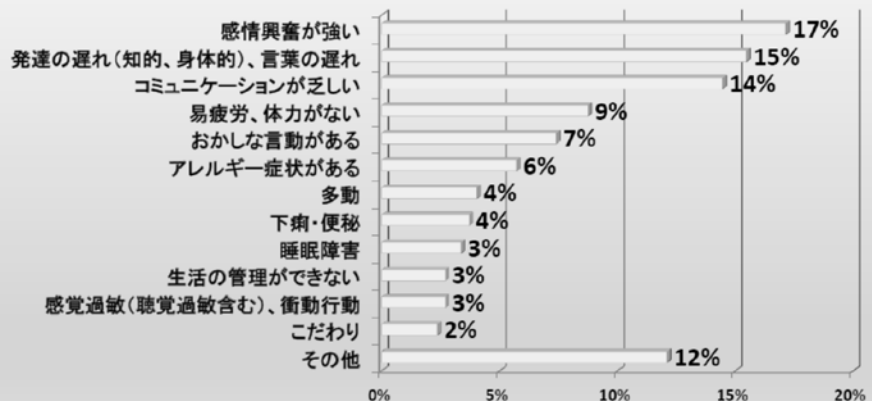
厚労省の説明では、「発達障害は、**脳機能の発達が関係する生まれつきの障害**です。」とされ、できることは、「発達障害はその特性を本人や家族・周囲の人がよく理解し、その人にあったやり方で日常的な暮らしや学校や職場での過ごし方を工夫することが出来れば、持っている本来の力がしっかり生かされるようになります。」とされています。

しかし、実際の診断は、アメリカ精神医学会が出した診断基準(DSM)に基づいています。この診断基準の危うさについては、拙著『発達障害の治療の試み』(B. 発達障害についての私たちの立場 1. 精神疾患や発達障害の診断について)に説明しています。実は、この危うさを専門家も意識しているからこそ、私たちが「発達障害の治療に成功した。」と発表すると、「それは発達障害ではなかった。」としてしまうのです。つまり、「発達障害は生まれつきの障害なので、治るはずがない。」という考え方で、「治るものは発達障害ではない。」というのです。

マリヤ・クリニックで治った、と発表しているのは、難度の高い自閉症の子供たちが含まれ、その子供たちは、誰が見ても障害児であり、親は育児にも対応にも困るほど困難であったということです。

当院来院時の患者さんの症状リスト

発達障害で来院された方の症状



C. 治療に関する考え方

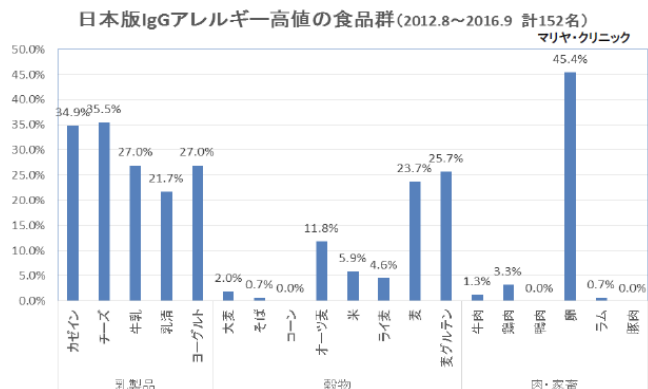
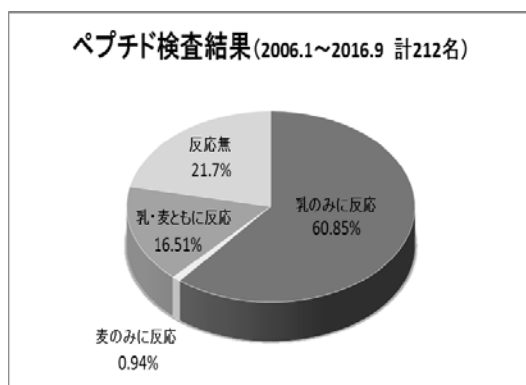
現在、血糖値の変動やホルモンの分泌異常による精神・感情への影響は広く知られ、食事や飲み物に関する注意がなされています。これは、29年間マリヤ・クリニックが唱えてきたことで、精神病診断とその治療法に対する異議でした。精神病として一度診断されると、一生、向精神薬を飲まなければならないという理不尽、病名の一人歩き危険性を『栄養医学ガイドブック』で唱えました。

人間を単なる動物と捉え、心を神経の働きと捉えるならば、精神や脳の異常を治り得ない物質的な故障と考えてしまうでしょう。しかし、人間は神が造られた機能的な創造物であり、心は靈魂と関わる尊厳を持ち、その異常は、本来のあるべき状態を保てば治り得るものなのです。心や脳に異常をもたらす食生活、有害物質、劣悪な環境を取り除き、必要な栄養素を補給すれば、身体は本来のDNA情報に基づいてホメオスターシスを獲得して治療に向けて働きます。

マリヤ・クリニックでは、発達障害の原因として以下のことを捉えています。

1. 腸内環境の悪化による免疫異常と炎症
 - ペプチド(乳カゼインや麦グルテン)の血液混入
 - 全身のアレルギー反応(IgE, IgG)
 - エネルギー代謝障害、免疫力の低下
 - 消化吸収能力の弱さ
2. 解毒機能の低下による有害物質の蓄積と代謝異常
3. 機能的低血糖症と鉄欠乏性貧血が症状を悪化
4. 先天的・遺伝的素因
5. 頭蓋骨の形成異常

まず病気や病状の原因を分析する上での必要な検査を行い、病状をもたらしている原因を調べます。分子のレベルで身体の整合を妨げている原因を探りながら、不足している基本的な栄養を補います。次にその障害となっている要因を取り除き、その部分を修復する栄養について考慮し、食事指導とともにサプリメントを個人毎に処方します。そうすることで、栄養補給によるDNA情報本来の生育を促し、発達障害の病状の回復を図ります。これが栄養医学です。遺伝的障害があっても治療、補助、栄養、支援によって改善していくことが可能であると考えています。



この検査結果からも、食生活と栄養の改善が必要なことがわかります。なぜ、このような基本的なことを医師はしないのでしょうか。精神障害、発達障害、その他、なんでもきちんとした検査から治療は始まります。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時 30 分～5 時 30 分)

土曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時～4 時)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)